

そなえる まつなみ

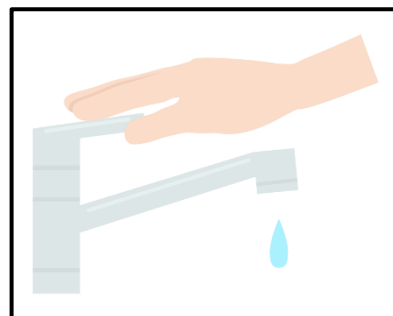
第9号



発行／松波自主防災会 千葉市中央区松波 2-22-35 松波会館内 2024年12月

● 「333の法則」を知っていますか？－“命の水”という話

「333の法則」とは、「人間が酸素なしで耐えられる時間が3分」「水無しでは3日」「食料無しは3か月」というものです。例えば、体重60キログラムの大人ならそのうち36～39キログラムが水分で、1日に失われる量と同じ2.5リットルの水分を補う必要があります。人間は水が5%足りないと頭痛に襲われ、さらに10%でけいれんを起こし、20%を超えると死に至る可能性があります。水は生きる上で大切なものです。



● 避難所はこうありたい！

NHK テレビ11月3日放送「明日を守るナビー海外から学ぶ避難所運営」から



イタリアの避難所の食事風景(テレビ)

日本の避難所運営は、市町村と被災者が行ないますが、イタリアでは国とボランティアが担います。

日本と同じ地震多発国のイタリアでは、災害が起きたときの避難所の設備が整っています。災害時に使う資材は、日本では各自治体の担当ですが、イタリアでは国が責任を負い各拠点に整備していて、発災から12時間以内に持ち出せるようにしています。

○ボランティア イタリアでボランティアとは、専門の訓練を受けた人で全国に30万人います。彼らの移動費は国が実費負担、また社員がボランティアとして出動した会社には金銭補助があります。

○TKBの重視 Tはトイレ、トイレが不衛生だと水を飲まず感染症になる人が出るため重視します。Kはキッチン、左の写真のように専用のテントで、昼夜は温かいおかずが2品以上出ます。食事制限などにも対応、配膳係が付いて並ぶこともなく、調理は本業のシェフなどが訓練を受けて当たっています。Bはベッド、床にじかに寝ることはありません。

● 「TKB48」、日本でも！

一般社団法人避難所・避難生活学会が提案

「TKB48」というのは、イタリアの例で紹介したように、「清潔で快適なトイレ(T)、温かい食事を提供できるキッチン(K)、段ボールなどのベッド(B)を48時間以内に提供しよう」というものです。日本政府もそうした要求に応じて、水洗の移動式トイレの導入費用を補助する方針を固めたと報じられています。